

市政を聞く 一般質問

3月定例会の一般質問は、10日、11日の両日行われ、13名の議員が市政各般にわたり、一般質問を行いました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。

一般質問発言通告一覧表

(平成15年第1回3月小浜市議会定例会)

通告者	発言の内容
西本 正俊	1. 平成15年度の行政運営を問う 2. 教育環境の充実を求める 3. 親孝行のまちづくり
池尾 正彦	1. 平成15年度の男女共同参画推進計画について 2. 平成15年度の水稲の病害虫防除対策について 3. 平成15年度の学校教育等への対応について 4. 平成15年度の観光行政への取組みについて
清水 正信	1. 市町村合併と行財政改革の推進について 2. 大手橋・西津橋の早期整備について問う
荒木 弘	1. 市町村合併について 2. 中長期財政計画、主事業計画について 3. 介護保険事業について
深谷 嘉勝	1. 市町村合併について 2. 住民投票条例の制定について
石橋 和彦	1. 市長に所信を聞く
杓子 明	1. 所信表明(3月定例会)について
山本 益弘	1. 公民館運営について 2. 地域行事の事故対応について 3. 江古川について 4. 多田寺薬師本堂の修復について 5. 公共下水道について
宮崎治宇蔵	1. 2003年当初予算について 2. 介護予防について 3. 中間貯蔵施設について
山口 貞夫	1. 食のまちづくりと経済活性化政策について 2. 県立大学海洋資源学科の学部化に関して
小堂 清之	1. 御食国若狭あばま食文化館の運営について 2. 森林の再生・整備について 3. 若狭路博に対する道路、交通対策について 4. 国道162号および県道の展望について
富永 芳夫	1. 小浜市の風水害対策について
池田 英之	1. 若狭路博2003による地域活性化について 2. 雇用対策等地域経済への対応について



西本 正俊 議員

問1 平成十五年度の行政運営を問う。

質問概要

①交通網整備が着実に進む中、今年開催される若狭路博2003を成功させ本年を若狭再生元年とすべく目的を絞った効率的な予算であるべき。

②市内業者の保護育成と企業後継者が育つ環境をつくるべき。

問2 教育環境の充実を求めることについて。

質問概要

①学力の基礎である漢字力の向上を目指すため『漢字甲子園』を開催してはどうか。

②学校教育における『食育』の現状と今後について。

③学校教育における『男女共同参画』学習について。

問3 親孝行のまちづくりについて。

質問概要

重要な徳目である『親孝行』を通じて小浜にあったまちづくりを行い、あわせて地域経済の再生に繋げてはどうか。



池尾 正彦 議員

問1 男女共同参画推進計画について。

小浜市役所内各部門での実施計画の到達内容を年度末には公表する。

問2 水稲の病害虫防除対策について。

昨年の九月より「検討委員会」を設置し会議を重ねているが、有人ヘリでの薬剤散布については論議中である。

問3 学校教育等への対応について。

①学校評議員制度の実施の時期は、

平成十五年度内に制度整備をする。

②学校施設の耐震診断計画は、

今後五年間で全学校に実施する。補強が必要と判定が出たら、緊急に対応する。

問4 若狭路博に向けての観光行政について。

観光客の目線に立って配慮する。広域観光への転換時期。



清水 正信 議員

問1 少子高齢化が加速する中、多様化・高度化する要求に対応した住民サービスの向上には効率的な行政の推進が必要。現在の小学校十四校体制をどう考えるか。

答 校区のあり方望ましい学校配置考えたい。

問2 保育園の民営化、統廃合に対する取り組みを聞く。

答 保育園民営化検討委員会を設置し、本格検討し、協議を図る。

問3 大手橋・西津橋の架け替え計画、道路拡幅計画を問う。

答 両計画とも十五年度に概略設計ができる。橋と道路の概略設計を基に地元説明に入りたい。

問4 河川整備計画について

答 嶺南地域流域検討会において検討中。南川の河川断面について基本的には拡幅が必要。

意見 橋、道路拡幅、河川整備

何れも大事業であり、地域の理解と協力が不可欠。十分な説明、協議、対応をお願いしたい。



荒木 弘 議員

問 1 市町村合併について。

答 小浜市、遠敷郡での期限内合併は実現可能であるとの観点から今後相違点の解消、克服に向けて、積極的に協議を重ねる。四月から庁内に合併推進室を設置し取り組む。これまで準立地の立場で原子力行政に協力してきた。今後も「共存共栄」で原子力行政を「共有」しながらやっていく。

問 2 中長期財政計画の見直し、主要事業計画について。

答 一般財源収入の落ち込みが想定される。事務事業評価システムの活用、公債費の抑制などに努める。また財政基盤の確立という観点からも市町村合併の実現へ努力したい。主要事業については特定財源の確保、基金の積み立てなどにより対応していく。

問 3 介護保険事業について。

答 介護サービス利用者が増加すると、それに伴うサービス支給費も増え、保険料の見直しが必要になる。試算では四〇〇円の引き上げを予定しており、料金に見合うサービス機能の充実に今後も努める。



深谷 嘉勝 議員

問 1 市町村合併について。

答 年度末に法定協議会を立ち上げると明言しているが現状は。

問 2 歴史的・地域的にも結びつき深い小浜市・遠敷郡の枠組みで特例法の期限内の合併を目指して協議している。

答 ① 他自治体に比べ、小浜市民の関心が低い。これは「最初から合併ありき」で進め、市民が正しい理解を得るための情報提供や十分な説明もせずに、一部の市民の意見をもとに方向性を出した。

問 3 市民への説明は充分ではなかった。今後より具体的に説明し、理解を得るよう努める。

答 市民投票条例の制定について、市民がこの地域で生活していく上において、不安感や危機感を抱くような重大な課題については、常設の住民投票条例を制定しておいては。

問 4 政策決定に民意を反映する上で有効な手段であるが、常設でなく、個別の重要課題で検討する。

答 政策決定に民意を反映する上で有効な手段であるが、常設でなく、個別の重要課題で検討する。



石橋 和彦 議員

問 1 「北朝鮮へ食糧支援をすべき」の真意は。

答 北朝鮮に残された地村さんの子供達を想う心を表した。交渉が止まっていることへの遺憾の意は？

問 2 非人道的な国家への遺憾であり、三人の子供達を早期に帰国させるべきだ。

問 3 拉致被害者支援室を強力なものにするべきと思うが。

答 拉致や現在の国際情勢および政府の拉致支援法が下火にならないように幅広い活動を支援室にする。

問 4 市町村合併は滋賀県等越境合併という夢のある語らいをして経済活性化に結びつけては。

問 5 国際交流は役人の狭い範囲の交流だけでなく、市民の交流へ広げていくべきではないか。

問 6 河川と海の生態系を考えた公共事業を行うべきではないか。

答 市民の交流を奨励する。河川と海の生態系を考えた公共事業を行うべきではないか。行います。



杓子 明 議員

問 1 市町村合併について

答 推進のために市長はさらにリーダシップを発揮された。特例法期限内に合併できるように大いに汗をかき努力する。

問 2 小浜城復元について周辺整備を含めた計画を市民に示すべきではないか。

問 3 川崎地係を中心にした温泉探索の結果、可能性は。

答 川崎周辺には断層があり温泉源にあたる可能性があると結果を得た。成分や湯量を確かめるには精査が必要である。

問 4 所信表明における市長の北朝鮮への食糧支援発言は、家族や関係者の人達のことを考えれば問題ではないか。

答 あくまで人道的問題だという筋論を徹底的に訴えていくべきとの考えを示したかった。



山本 益弘 議員

問 1 公民館運営の今後と改修建設予定について。

答 新年度は職員を一名増員し充実を図る。公民館のあり方を充分検討し次年度以降住民のニーズに応えたい。建設は振興実施計画に基づき計画的に進める。

問 2 地域行事の事故対応について。

答 公民館総合保障制度からの保険金と弔慰金を出す。亡くなられた方のご冥福を祈ります。

問 3 江古川の浚渫について。

答 土置場の地元協力をいただければすぐに実施したい。熊野川も同様である。

問 4 多田寺薬師本堂の修復について。

答 市文化財の候補物件として調査中。指定されれば修復費が補助できる。さらに県指定になるよう努力する。

問 5 公共下水道について。

答 遅くとも平成二十二年度までに四期工事が完成するよう努力する。工事費が安くなれば当然受益者負担金に反映する。